



8 働きがいも
経済成長も



ディーセント・ワークと 経済成長を両立させる ことはなぜ大切か

目標の内容は何ですか。

すべての人にとっての包摂的で持続可能な経済成長と雇用、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を促進することです。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

安定した賃金の高い仕事がない限り、貧困の根絶は達成できません。1日1.90米ドルという貧困ライン未満で暮らす人々は、22億人近くに達しています。

失業者はどれだけいるのですか。

国際労働機関(ILO)によると、2017年の時点で世界人口の5.6%が失業しています。2018年も、失業者の総数は1億9,200万人と高止まりしており、ディーセント・ワークに就くことはますます難しくなっています。

どれだけの雇用が必要なのですか。

世界の生産年齢人口の増大に対応するだけでも、2016年から2030年にかけて、労働市場への新規参入者のために世界全体で4億7,000万件の雇用が必要となります。つまり、毎年約3,000万件の雇

3,000 万件：
世界の生産
年齢人口の増大
に合わせ、
毎年、労働
市場への新規参
入者に提供する
必要のある
雇用の数

用を創出しなければなりません。

では、その人たちが全員、職を得られれば、極度の貧困に終止符が打てるのですか。

雇用を創出するだけでなく、仕事に就いていても、自分自身や家族を貧困から脱出させるために十分な稼ぎを得られていない約 7 億 8,300 万人の女性と男性の労働条件を改善する必要があります。

また、女性と女兒は雇用に関し、男性や男児と均等な機会にアクセスできなければなりません。

私は仕事を持っています。職のある人間にとって、なぜこの目標は大切なのですか。

人々の生産性が上がり、それぞれの国の成長に貢献できれば、社会全体に利益が及びます。生産的な雇用と「ディーセント・ワーク」は、公正なグローバリゼーションと貧困削減の達成に鍵を握る要素です。また、失業を放置しておけば、社会不安が生じ、平和が乱されるおそれもあります。

「ディーセント・ワーク」とは何ですか。

ディーセント・ワークとは、公正な所得、安心できる職場と家族の社会保障、自己啓発と社会的統合のよりよい見通しを提供できる生産的な雇用を誰もが得られる機会を意味します。また、すべての女性と男性が、職場で均等な機会を与えられることも重要です。ディーセント・ワークの機会の欠

如、不十分な投資、過少消費が続けば、すべての人が進歩を分かち合わねばならないという、民主的社会の根底をなす基本的な社会契約が成り立たなくなってしまう。

こうした問題を解決するため、私たちには何ができるのですか。

若者にディーセント・ワークへ移行できる最善の機会を与えるためには、できるだけ質の高い教育と訓練に投資し、若者に労働市場の需要に見合うスキルを提供し、雇用契約の種類にかかわらず、社会保障と基本的サービスを利用できるようにするとともに、公平な競争条件を確保することで、すべての意欲的な若者が自らのジェンダーや所得水準、社会経済的背景に関係なく、生産的雇用を達成できるようにする必要があります。

各国政府は、躍動的で持続可能かつイノベーション性に富む人間中心型の経済を構築することで、特に若年雇用と女性の経済的エンパワーメント、さらにはすべての人のディーセント・ワークを促進することができます。

地方自治体とコミュニティは、社会の一体性と個人の安全を高め、イノベーションと雇用を刺激するような形で、それぞれの都市

と人間居住の再生や計画を図ることができます。

目標 8 をはじめ、持続可能な開発目標についてさらに詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

改訂版・日本語訳：国連広報センター
(2019年3月)

